

2023年3月3日
株式会社アドヴィックス

アドヴィックスと岡崎市、ブレーキ制御技術を活用した車重推定による
「ごみの見える化」に向けた実証実験を開始

株式会社アドヴィックス（本社：愛知県刈谷市、社長：大竹哲也、以下、アドヴィックス）は、ブレーキ制御技術を活用した「ごみの見える化」によるごみ減量への課題解決に向けて、本日、岡崎市と連携協定を締結し、実証実験を開始しました。実験期間は、2024年3月31日までです。

今回の実証実験には、クルマの安全機能である横滑り防止装置（ESC）の開発でアドヴィックスが培ってきた車重推定技術*を応用します。具体的には、可燃ごみ収集車の車両走行情報（車速や前後加速度など）をクラウド演算して車両の重量をリアルタイムで推定することで、従来は算出が難しかった地域ごとのごみ排出量データの取得に取り組みます。

これにより、岡崎市は各地域のごみの見える化を通じたごみ減量活動の活発化や、ごみステーションの適正な配置・収集ルート最適化などを目指します。アドヴィックスは、業務で使用される実際の環境下で車両から取得したデータによる車重推定ロジックのレベルアップや、車重推定結果の効果的な提供方法を検討し、本技術の事業化に向けた検証を進めます。

世界トップレベルのブレーキシステムサプライヤーであるアドヴィックスは、ブレーキや車両運動統合制御を核とした豊富な技術を保有しており、既存の自動車向け事業に加えて、これらの自社技術を活用した社会問題を解決するための新たな事業領域の拡大に取り組んでいます。

これからもアドヴィックスは、持続可能な社会の実現に向けて挑戦を続けてまいります。

* 車両走行情報を計算することで、クルマの重さを推定する技術

1. 実証実験のしくみ



以上

問い合わせ先	株式会社アドヴィックス 経営企画部 TEL : 0566-56-5938
--------	---